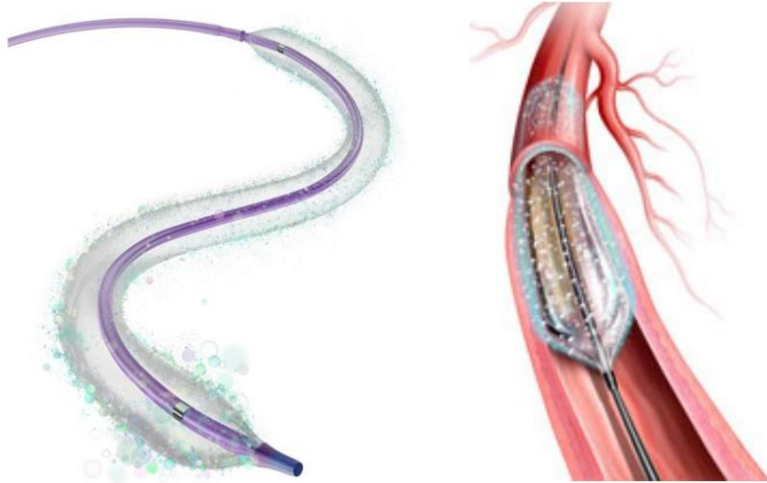


## 大腿動脈(SFA)用薬剤溶出バルーン(DCB:IMPACT、LUTONIX、Ranger)

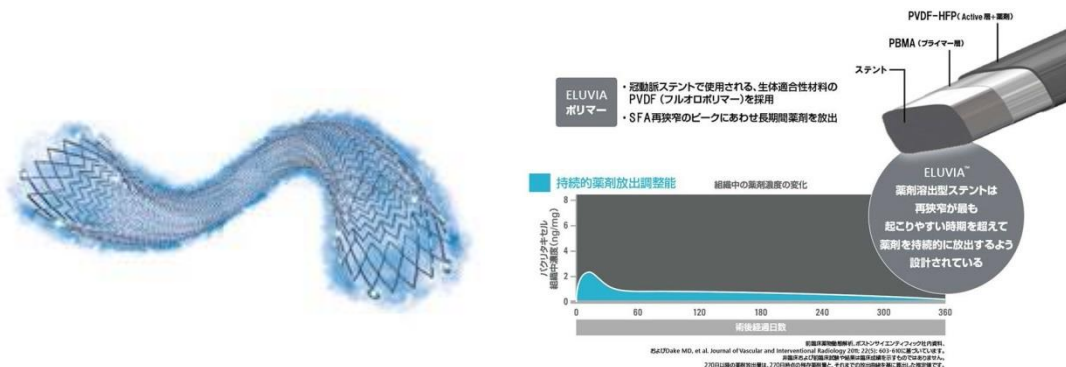
DCB (薬剤コーティングバルーン) は、下肢の末梢動脈疾患 (PAD) に対する血管内治療デバイスです。対象血管径 4mm 以上、7mm 以下の浅大腿動脈・膝窩動脈における、200mm 以下の新規病変または非ステント留置再狭窄病変を有する患者さんへの経皮的血管形成術(PTA)を適応として、承認されています。バルーンに塗布された薬剤「パクリタキセル」をバルーン拡張により血管壁に送達させ、再狭窄を抑制することが期待されています。当院では、IN.PACT™ Admiral™ (Medtronic) と Lutonix (BD) と Ranger の 3 種類の製品を適宜使い分け、主に石灰化の少ない比較的短い病変に用いております。



大規模臨床試験により評価され、欧米において 3 年間にわたる安全性に関するアウトカムが得られております。しかしパクリタキセルは抗がん剤としても用いられるお薬です。使用する量はがんに使う場合と比べごく微量ですが、使用にあたっては有効性、危険性につき十分な説明をさせていただきます。

## 大腿動脈(SFA)用薬剤溶出型ステント(DES:ELUVIA)

DES (薬剤溶出型ステント) は、下肢の末梢動脈疾患 (PAD) に対する血管内治療デバイスで、浅大腿動脈の経皮的血管形成術(PTA)を適応として、承認されています。ステントに塗布された薬剤「パクリタキセル」を徐々に放出することで、再狭窄を抑制することが期待されています。当院では、ELUVIA (Boston) を使用しています。主に DCB よりも比較的長い病変や、バルーンで広げた時に広がりที่ไม่十分な場合、血管壁に解離が生じた場合などに用いております。

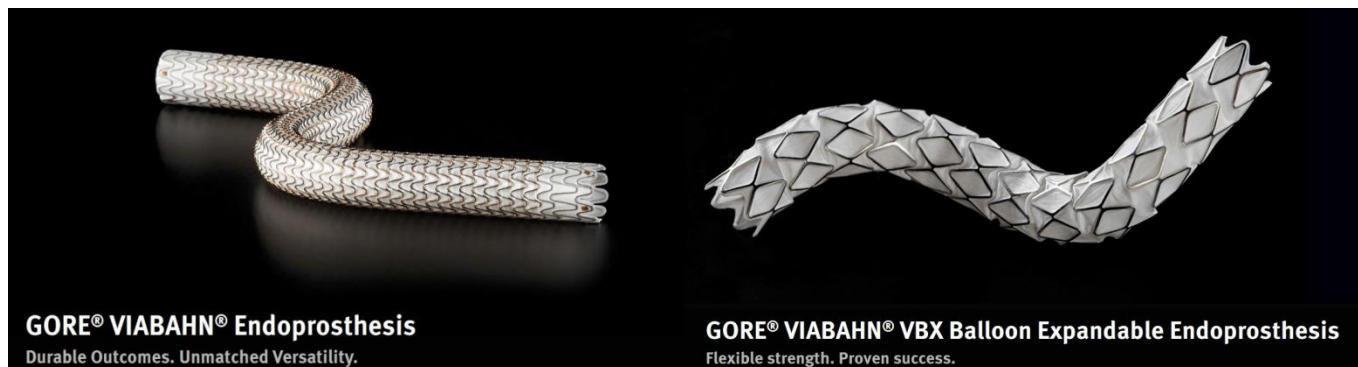


## 大腿動脈(SFA)用ステントグラフト (VIABAHN)

## 腸骨動脈用ステントグラフト (VIABAHN VBX)

VIABAHN は大腿動脈用の自己拡張型のステントグラフトで、VBX は腸骨動脈用のバルーン拡張型ステントグラフトです。いずれも Gore の製品です。ステントグラフトはステントの周囲に人工血管を張り付けてあります。

このため、治療後にステントの網目から新生内膜が増殖することを防ぎ、長い閉塞性病変に有効です。また、人工血管があるため、治療部位の術後の出血性のトラブルを予防することができます。ただし、治療した範囲から分岐していた動脈の分枝への血流は途絶えてしまいます。このため、主に分枝を含めて閉塞していた長い閉塞性病変に用いております。



### 大腿膝窩動脈用ステント (SUPERA)

Supera ステントは、動脈の自然な動きを妨げることのないよう、生体模倣の原理に基づき設計されており、多くの PAD 患者にとって重要な改善となる歩行時の脚の痛みを軽減します。その独自の特許を持つ網目状ワイヤ技術を用いており、強度と柔軟性を保ちながら治療部位の血流を回復させます。Supera ステントは、浅大腿動脈、近位膝窩動脈疾患の治療用として承認されています。Supera ステントは柔軟性に富み、強度が高く、激しい運動時のよじれや破断に対する耐性が高くなっています。主に関節に近い部位でのステント留置に用いております。

